

コロナ禍でも、各学校で元気いっぱい運動会が行われました

緑が浜小学校

10月29日(土)～信輝翼越～「友だちを信じて 一人一人が輝き 目標に向かって頑張ることで壁を乗り越えられるような 楽しくて素晴らしい運動会にしましょう」をスローガンに元気いっぱい体を動かす子どもたち、笑顔があふれていました。(緑が浜小学校P.G.T. 和田久美子)



汐見台小学校

10月29日(土)秋晴れの下、半日に濃縮し開催された運動会は笑顔と感動がいっぱい!演目も係の仕事も2学年合同で一緒に活動しながら口伝と背中を下級生へ受け継いでいくのが特徴。アットホームな汐らしい運動会でした。

(汐見台小学校PTA 萩原 恭子)



松浪小学校

10月22日(土)2年ぶりに生徒全員がそろって運動会を迎える事が出来ました。ダンスや徒競走、リレーなど一生懸命に練習してきました。本番に見せたみんなの頑張っている姿はとても格好良かったです!

(松浪小学校PTA 岡野 真理)



松浪中学校

5月21日(土)大会前夜の雷鳴と、当日朝の雨予報で開催が危ぶまれましたが「轟け 努力の 雷鳴よ」のスローガンのとおり、泥だらけになりながらも見事にやりきる子どもたちの姿が印象に残る体育大会でした。

(松浪中学校PTA 小松 真生)



編集後記

★コロナ感染の影響も、まだまだ油断できない状況にあります。その中でも、様々な行事が開催され始めました。まつなみだよりも楽しい紙面が出来ることを喜ばしく思います。(公募委員・川田)
★運動会では3年ぶりに表現(ダンス)と応援合戦が行われました。何が出来て何ができないか、考えながらの行事でした。(緑が浜小学校P.G.T. 和田)

まつなみだより



令和4年12月15日発行(第27号)
発行:松浪地区まちづから協議会
HP: https://matunami.jimdofree.com/
印刷:(有) 仲手川印刷



松浪コミセンまつり開催!

コミセンまつり実行委員長 刈間 昌仁



前田会長の挨拶でおまつりスタート!

10月23日(日)、3年ぶりに松浪コミセンまつりが開催されました。当日は晴天に恵まれ、1200名の地域住民の方にご来場いただき大盛況のうちに、無事開催することができました。受付で検温をお願いし、目印としてリストバンドをつけていただくなど、コロナ対策にも万全を期しての開催となりました。

あてくじやおもちゃの金魚釣り、山田プリンさんの大道芸では、自由に参加できる皿回しのコーナーがあり、皆さん楽しそうにチャレンジしていました。ちえりこさん

の似顔絵コーナーや、各団体の展示コーナー、2階ではステージで日ごろの成果を発表していただくなど、どのコーナーも大いに盛り上がり、楽しんでいただくことができました。

何もできなかったこの3年、このような機会を皆さんが待ち望んでいたことを実感する一日でした。

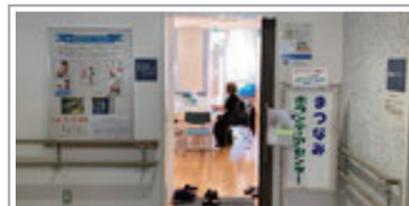
食べ物は密を防ぐため食数を限定したこともあり、午前中にはほぼ完売してしまい残念に思われた方も多かったかもしれません。来年は何の制限もなく開催できるように祈るのみです。



多くの来場者でにぎわいました。



さざなみワークショップ



ボラセン相談窓口開設



おもちゃ金魚すくい



ちえりこさんの似顔絵コーナー



みんな夢中で皿回し



山田プリンさんの大道芸は大人気!



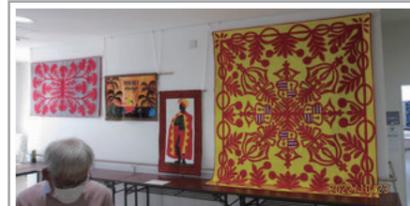
ステージのトップは笑南亭たんぼぼさん



フラダンス&ウクレレで気分はハワイアン!



子どもたちがゲームをプログラム



展示コーナー。大迫力のタペストリー



俳句がずらり



コミカフェでほっと一息。豊富なメニューがありました

※写真はほんの一部です。全てご紹介できず申し訳ありませんが、準備から当日までご協力いただいた皆様ありがとうございました。

## 令和4年度 松浪地区会議

令和4年9月10日、松浪コミュニティセンターにて昨年に続き「松浪地区会議」を開催致しました。

冒頭、松浪地区まちぢから協議会前田会長の挨拶の中で、「コロナ禍では密を避けるため、地域住民側も行政側にも人数制限が必要でしたので残念ながら昨年に引き続き今年も「市民集会」としてではなく「松浪地区会議」として開催致します。松浪地区の皆さんより募集した事前質問は26件で生活環境問題が多く、今回はごみ問題を集中的に取り上げました。」との報告がありました。茅ヶ崎市からは、佐藤市長をはじめ、当地区とご縁の深い塩崎、岸両副市長、議題担当部署の部長及び課長を含む9名のご出席をいただき、総員50名余りでの意見交換の場となりました。佐藤市長より、「今までコロナの関係で止まっていた地域のコミュニティ活動を、これからは動かせるところはしっかりと動かしていく。人と物を動かしていく局面に入りましたので、地域の皆さんのご協力をお願いしたい。4月からごみの有料化になりごみは大きく削減されましたし、安心まごころ収集の比率も増えて、戸別収集という課題も見えてまいりました。」との挨拶がありました。

議題に入るに当りスライドで、4月～7月のごみ排出量の現状実績報告がありました。ごみの有料化で前年同期比2,450トン減(13.1%減)、家庭系の燃やせるごみ2,200トン減(16.5%減)、燃やせないごみ580トン減(35.9%減)と

松浪地区まちぢから協議会 副会長 朝岡 通光

なりました。資源ごみは280トン増(5.4%増)とのことです。特にプラスチック製容器包装類は200トン増(22%増)、古紙も125トン増(5.6%増)との報告ですが、不適正な出し方の改善や、適切な分別への努力が必要とのことです。また有料化をすでに導入している県内の5市(大和市、藤沢市、海老名市、鎌倉市、逗子市)の状況報告もありました。

本日の議題は意見募集した26件のうち65%が生活環境関連でしたので、今回はごみ問題を主題として、戸別収集、ごみ集積場所設定基準、コンポストの設置等についての議題に沿って限られた時間の中で意見交換が行われ、松浪地区の課題の共有化が図られました。尚、今回の松浪地区会議の議事録及び事前質問の内容及び市からの回答につきましては、例年同様にホームページに掲載されてます。



## 松浪地区さんぽ道 ~松浪小学校誕生物語7~ 元松浪小学校教頭 鴨志田 聡



松浪小正面玄関脇の植え込みに置かれた「大石二個」の寄贈者である大八木商店さん(大八木信昭氏)が昭和56年の茅ヶ崎市明細地図(右の地図)で浜竹一丁目にあったことがわかりました。調べていくと大八木商店は今、浜竹三丁目にある(株)小浜土地建物の前身(会社組織としては別のものだそうです。)であったということがわかりました。

「大石二個」が寄贈された昭和35年当時、大八木商店は造園、土木、不動産の仕事をしていました。「まっぴらみだより」24号で紹介した初代PTA会長小沢与八氏の回想からも、松浪小学校の用地を神戸銀行等から取得するにあたり、協力していただいた可能性はあります。また、その後の校庭整備にもかかわっていただき、開校3年を迎えた昭和35年2月の記念日に、「大石二個」が校庭の庭石として寄贈されたのではないかと考えられます。

大八木商店を経営されていた大八木信昭氏は造園が好きで、早川の河原の石などを使って見栄えのする庭造りをされていたそうです。信昭氏のご子息、信義さん(現・小浜土地建物代表)のお話では、学校の玄関脇に置かれている長くて先が少しすぼまった石が鶴を、今はないもう



ひとつの大石は丸っこい石で亀を表していたのかもしれないとのことでした。「鶴亀」という縁起のいい庭石の組み合わせがあったそうです。

場所は正門に入って右の方にあったのではないかとのことでした。当時の「大石二個」をご存じの方がいられたら、情報提供のほどよろしくお願ひいたします。

## 地域の行事

少しずつ、地域に賑わいが戻ってきました!一部ですが紹介します。

### 防災オリエンテーリング開催

浜竹二丁目防災部、レクリエーション部

浜二の安全を見守る防災部と、楽しみを追求するレクリエーション部が再びタッグを組んで、昨年に引き続き防災イベントを開催しました。5月22日(日)のイベント当日は真夏を思わせる汗ばむ猛暑となりましたが、70名を超える多くの方にご参加いただきました。

『浜二エリアにある消火器を5台以上探して、クイズに答えて、ゴールを目指す』という今回のイベントを通して、普段は風景の中で見過ごしてしまっている身近な消火器の存在を再認識していただけたのではないのでしょうか?浜竹エリアには21台の消火器が設置されていますが、今回ご参加いただいた方の中には、すべて探した強者も!!今年は、役員の方々が、焼きそば、フランクフルトを焼いて、参加された皆様に昼食としてお持ち帰りいただきました。又、参加賞及びその他景品も沢山用意して、皆さまにお渡ししました。コロナクラスターも怖いですが、火災クラスターは浜竹地区で最も恐れる災害です。消火器は火災クラスターを防ぐ初期消火の最大有効ツール。今一度、ご自宅の近くにある消火器を確認してみましょう。



### 年齢を超えた交流が広がっています

松浪小学校区青少年育成推進協議会 佐藤 敦恵

7月、久しぶりに『子ども大会』を開催することができました。昨年のパラリンピックで注目されたニュースポーツのポッチャやラダーゲッター、昔からの竹馬やストラックアウトを、限られた人数ではありましたが小学生とボランティアの中学生と一緒に楽しそうに体験していました。

今年度の推進協は公民館との共催事業『おもしろいっぱい遊び空間』や『ちびっこひろば』で少しずつ子どもたちとの交流を広げていきます。

恒例のみかん狩りは、規模を縮小して市内でカキ狩りをする予定です。今後も様子を見ながら子どもたちとの交流、また、子どもたちの異年齢交流の場になるような活動を続けていこうと思います。



### 子ども大会 & 夜の映画会

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会 矢崎 明子

新型コロナウイルスの影響により、こ数年は…推進協としての活動が何も出来ませんでした。今年は、感染状況を見ながら何か子どもたちが楽しめる行事を開催しようと話し合い…6月12日(日)子ども大会を行いました!『作って遊ぼう』と題して、バルーンアートとパラシュートを作り、それを飛ばして遊ぶという内容でした!8月7日(日)には、校舎にスクリーンを設置し、校庭での夜の映画会(ミニオンズ)を開催しました!3年ぶりの映画会には、278名の方が観に来られ大盛況でした。校庭ではマスクを着用し、なるべく間隔をあけて座ってもらい、静かに鑑賞するという事を徹底し、大きな混乱も無く無事に終えることが出来ました!今、コロナ禍の中…たくさんの規制があり、当たり前が出来た事が出来なくなり、子ども達はたくさんの我慢を強いられています。そんな中…少しでも子ども達の思い出に残る楽しい行事を考えて、これからも活動していきたいと思ひます。



### 3年ぶりの納涼祭

浜竹三丁目自治会 杉本 誠

7月30日コロナ禍ですが浜竹三丁目東公園にて納涼祭を実施しました。密を避けるため、メインの焼きそばは中止、飲み物の缶は持ち帰り、入場時の名簿作成等制限をかけた中での実施でした。当日はたくさん来てくれるかなとドキドキ状態でのスタートの中、皆様予想以上に楽しみに待たれていた様子で、3年前とあまり変わらない400名の来場者を数えました。

この様な中、変化を感じたのは、若い組長さんが積極的に祭りを手伝ってくれた事、若いファミリー層の来場が多かった事等が印象に残りました。ここ2、3年一戸建て、アパートが増え、若い人が増えたなと感じた事が事象として現れ、高齢化が進む浜竹三丁目自治会に活力、刺激を与えてくれました。

又、納涼祭の運営においては、製作、販売別にした模擬店スタイルの確立も密を避ける成果として出ており、無事に終了し、3年間をうめるなかなか良い納涼祭だったと自画自賛しております。ただ、心残りは。さすがにコロナ禍故、全員で打ち上げができなかったことです。

最近再び第八波のコロナが心配されておりますが、早くマスクのいらぬ日常が戻り、イベントを通じ皆が顔なじみになれる事を祈念します。最後にこの紙面をかり、運営に携わった全員の奮闘にお礼を申し上げます。



### なぎさの子☆ビーチクリーン & ミニ運動会

汐見台小学校区青少年育成推進協議会 佐々木 睦子

5月28日のさわやかな初夏の日に、「なぎさの子☆ビーチクリーン&ミニ運動会」を行いました。この企画は、汐小の卒業生である木村碧斗さんから提案があり推進協とかがわ海岸美化財団が協力して行うことになりました。小学校の総合的な学習時間で行った活動を復活させ、ビーチクリーンの大切さやSDGsの取り組みを知ってほしいという想いです。

はじめに、木村さんからビーチクリーンの説明を聞き、ざるを使い砂浜のごみを分別しました。子ども達は、小さなプラスチックの破片やたばこ、木片等のゴミが落ちているのに驚いていました。その後は、待ちに待ったミニ運動会。ビーチクリーンとビーチフラッグスでは、校長先生やお父さん達も参加し、子ども達が砂浜をはだして走り回中、声援が飛び交いました。その後は海を眺めながら気持ちよくフラダンスを踊り、最後は宝探しで盛り上がりました。今回、自分たちの地域の砂浜をきれいにして、その場所で楽しんだことや、汐小の卒業生数名が私たちと一緒に活動してくれたことがとてもうれしかったです。また、この活動を続けていけたらと思ひます。

